

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：Gakkenほいくえん ニツ橋	種別：認可保育所
代表者氏名：大村 由里花	定員（利用人数）： 60名
所在地：〒246-0021 横浜市瀬谷区ニツ橋町351-3	
TEL：045-360-1070	ホームページ： https://nursery.cocofump.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2013年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 学研ココファン・ナーサリー	
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員 12名
専門職員	（専門職の名称） 名 調理師 1名
	保育士 18名 看護師 1名
	栄養士 2名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
	0歳児、1歳児2歳児は独立した保育室、3,4,5歳児はワンフロアで過ごしている
	園庭を囲むようにL字型に平屋の園舎がある。園庭には砂場があり、固定遊具は置かず伸び伸びと走り回れる

③ 理念・基本方針

企業理念

・すべての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安心と明日への夢・希望を提供します

保育理念

・育ちのチカラが輝く、心ゆたかな未来をつむぐ

保育方針

- ・子どもが愛されている実感を持ち、他者との関わりを楽しめる場を創出します
- ・子どもの“やりたい”にとことん寄り添い、「好き」を探求する時間を大切にします
- ・それぞれのご家庭の子育てパートナーとして、喜びと感動を共有します
- ・人と人、人と場をつなげ、学び合い、育ち合える関係を構築します

④ 施設・事業所の特徴的な取組

学研のコンテンツを保育に導入

- ・1歳児～3歳児の園児対象 月刊絵本の無料配布 ▶子どもの興味関心をリアルに保育活動に導入
 - ・4歳児・5歳児対象 「もじかずランド」の導入 ▶遊びながら学べるもじかずの習得
 - ・4歳児・5歳児対象 「スポーツチャンバラ」の導入 ▶心（礼で始まり礼で終わる）と体をバランスよく鍛える
- ▶体を動かすことを楽しみながら健康な体づくりを目指す
- 丁寧な保育を行うことをモットーとし、子どもたちの気持ちに寄り添いながら、子ども

もたちの主体的な姿を大切にしながら保育をしています。季節の野菜の栽培を行ったり、給食で扱う『野菜に触れるコーナー』を設けて、野菜を身近に感じられるような取り組みを食育で行っています。

課外活動

- ・学研教室（5歳児対象）週1回
- ・コスモスポーツクラブ（体操教室）（2歳児から対象）週1回

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 6月 1日（契約日） ～ 2024年 2月 19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成30年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

子どもの自主性、主体性を尊重した保育を実践している

職員は、日常の保育の柱として、法人が示している、子どもが本来持っている育ちの力を伸ばすこと、主体的な活動を支援し、発達を促すことを共通理解し実践に取り組んでいる。図書コーナーやホールの子どもの手が届くところにコーナーを作り、自ら選択して主体的に遊べるように工夫している。製作に必要なと思われる廃材や用具を自由に使用できる環境を用意し、遊び込める時間と空間を提供するなどの支援をしている。一人ひとりに丁寧に関わり、子どもの思いを受け止め理解するように努めている。このような働きの結果、子どもたちは自主的、主体的に保育園生活を楽しんでいる。

守るべき法律・規範・倫理の周知を図り、子どもの尊厳の尊重に配慮している

職員に対しては本部で入社時の新人研修にて、社会人・福祉サービスに従事する者として、守るべき法律・規範・倫理などを周知し理解が深まるように取り組んでいる。園では随時に会議や各個人別にマニュアルを確認するなど、一層の理解および遵守されるよう取り組みを行っている。また、倫理やコンプライアンスの徹底に向けた規程の整備や担当部署・担当者の設置など体制構築を図り、積極的な取り組みを行っている。また、職員の責任・役割およびそれに基づいて取り組むべきことは面談を実施し、年間役割分担表などで説明を促している。

今後期待される点

さらなる保護者との情報共有を行い、安心して子育てができるような支援が望まれる

職員は、保護者に対して、入園時や懇談会などの機会を通して、指導計画を分かりやすく説明し、保育の意図などについて伝えている。送迎時には積極的に話しかけ、何気ない子どもの普通の会話や行動を具体的に伝え、悩みや相談に乗れる話しやすい雰囲気を作っている。子どもの活動をクラスごとにドキュメントにして掲示し、子どもの発達や保育内容を共有し、親子の会話ができるように工夫している。一方で、送迎時は慌ただしく話す時間がなかったり、職員の業務上、対応に差異が生じる場合もある。今後はさらなる保護者へ、園の取り組みに対して理解が深まるような情報の共有を行い、安心して子育てができるように支援していくことが望まれる。

事業計画が職員一人ひとりに詳しく説明が行き届いていないことを課題としている

事業計画の策定にあたっては、職員会議において前年度総括を行い策定する流れになっており、保護者の意向や要望、職員の意見などを反映させることにしている。園において原案を作成し、年初の職員会議で園長より説明することになっている。事業計画

ではその年度の運営を示しているが、職員全体に詳しく説明が行き届いていないことを園では課題としていることがうかがえる。今後は新年度を始めるにあたりどのような運営をして行くかを周知し共に取り組んでいくことを目指している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審するにあたり、あらためて保育・運営全体の振り返りができました。第三者評価の受審は2回目となりますが、初めての受審経験者がほとんどで、全職員で「第三者評価」に一から取り組み「自園の保育」「子ども主体の保育」とは何か、様々な意見を出し合いながら、より質の高い保育となるよう実践を積み重ねていきたいと思えます。

今回の利用者アンケートを通じて貴重なご意見をいただきました保護者の皆様には、ご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。ご意見やご要望を真摯に受け止め、職員一同努力して参りたいと思えます。

これからも皆様に安心して利用していただける、地域に根付いた保育・運営を行って参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり